

『はじめてのキャンプ』 ～二年生 <本のせかいを 広げよう> 141 ページ～

作・絵 林明子



ちっちゃい女の子のなほちゃんが、大きい子たちと一緒に、はじめてのキャンプに行くおはなしです。なほちゃんは、大きい子たちに負けないように、一生懸命がんばります。がんばったなほちゃんへのご褒美、それは……。三年生で読む『モチモチの木』を彷彿とさせます。

なほちゃんが頑張っている姿が健気です。小さい子は、こうして少し年上の子に憧れて、背伸びをして、がんばって大きくなっていくのだと実感します。でも、「がんばってえらいな」というよりも、そんなに頑張らなくてもいいのに…と、少し心が痛くなります。小さい子は小さい子のままでいい、というのが現代ではないでしょうか。

この本の初版は1984年。今から36年前のお話です。当時はこんな風に、なんでも頑張って、早くできるようになりたいというのが、普通だったのだと感じました。

キャンプに連れて行ってくれた“おばさん”が、ちょっとだけかばってくれて、ホッとしました。最後の朝食シーンが嬉しいです。

- 読むのにかかる時間 30分
- 絵本のような単行本 102ページ
- 福音館書店